



令和4年12月22日

各位

上場会社名 津田駒工業株式会社
代表者 代表取締役社長 COO 山田 茂生
(コード番号 6217)
問合せ先責任者 常務取締役管理部門統括 松任 宏幸
(TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和4年10月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和4年11月期通期連結業績予想数値の修正(令和3年12月1日～令和4年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,500	△1,500	△1,500	△1,500	△234.79
今回修正予想(B)	31,000	△2,400	△2,400	△2,400	△375.68
増減額(B-A)	△2,500	△900	△900	△900	
増減率(%)	△7.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (令和3年11月期)	27,796	△3,723	△3,605	△4,495	△703.61

修正の理由

通期の業績予想につきましては、第3四半期(令和3年12月～令和4年8月)までは損失計上を余儀なくされましたが、当第4四半期(令和4年9月～11月)では、繊維機械事業、工作機械関連事業ともに生産・売上の拡大、黒字転換を予定し、通期での損失の縮小を見込んでおりました。

工作機械関連事業においては概ね計画に沿って推移したものの、繊維機械事業においては購入部品を中心とする長納期化等の影響により、一部の案件の売上計上が次期にずれ込むこととなりました。また、原材料価格や海上輸送運賃などの急激な高騰に対し、販売価格への転嫁やコストダウン活動が追い付かず、当初計画を下回る見込みとなりました。

この結果、通期の業績予想につきましては、売上高は31,000百万円となり、損益面では、営業損失は2,400百万円、経常損失は2,400百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は2,400百万円となる見込みであります。

以上